手話できますマーク配布運動

『一人の完璧な手話がわかる人より
100人のちょっと手話がわかる人がいると
暮らしやすい』
そんな世の中を目指して！

聞こえないってわからないから
困ってるってわからないみたい…

何が起きたの？
電車や避難どうしたらいいの？

誰に聞いたらいいんだろう・・・？

少しでも手話ができる人がマークをつけよう！

初級終了程度	中級終了程度	上級終了程度	養成終了程度

初級で「芽が出る」
中級で「育って葉が増える」

上級で
「安心できる木になる」

養成クラスで
「優しさの実を沢山つける」

初級終了程度でも、音声変換アプリや必要な配慮の知識があります。
聞こえない人、聞こえにくい人達の不安な時間を
少しでも減らしましょう！

タイトル：
手話できますマーク配布運動

なぜその提案(できること・取り組みたいこと)を思いついたか：
福祉カレッジの認知症の講座で外見からはわからない人達へのチームオレンジの活動を勉強しました。認知症への理解、たくさんの人達に気づいてもらうことの大切さを学びました。手話の勉強をしている中で聴覚障害者ためにもいかされる活動だと思い「手話できますマーク」を考えました。

その提案を実践することで地域がどのようになればよいと思うか：
狛江にいらっしゃる聞こえない方から実際に標題の「一人の完璧な手話ができる人がいるよりも、百人の手話がちょっとできる人がいたほうが暮らしやすい。」と聞きました。電車が急に止まっても他の人が逃げたら理由もわからずに逃げるといった実情も聞いています。そんな情報を手にできない不安な時間が少しでも減るように考えていきたいと思います。